

ふすまをうらうし開きとめて暖の年うをいふとあ
するふさ其鳥をさして遊ばせて飛揚るゝあつた大斗
こるあの外までい飛ねえうあつた又あつた猫を
ひく放つて氣を捕る者と捕るまゝ生きる猫も
勝つやうと怪談集会あつた一書こええう略し

安保殿滅之を高祖聖王之事

朝有江頼^{江頼}誇世路^{世路}著^著為^為白眉^{白眉}村^村郊^郊奈^奈人間五
十年^{十年}權花^{權花}一日の夢^夢うう安保^{安保}手を郎能^{郎能}飛滅^{飛滅}之

の故と尋ねたに五十^{五十}元^元氏の老翁^{老翁}うに語り申しけるは
余^余家の祖母^{祖母}ハ余^余月の片^片肝^肝巾^巾三^三郎^郎多^多長^長つ娘^娘をうこ
郎^郎ち多^多長^長つ陶^陶来^来るうあうわと合^合談^談うるをうこ子
孫^孫の物語^{物語}とせられは安保^{安保}殿^殿滅^滅之^之せられす
ハ或^或時^時安保^{安保}殿^殿門^門前^前に高祖^{高祖}聖^聖王^王とて休^休居^居るを門
前^前の者^者共^共早^早々^々立^立退^退けしと再^再こ言^言ひけるも聖^聖王^王狼
漢^漢とやいけんそらうそらうて居^居けるを聖^聖王^王門
前^前に門^門外^外遙^遙く追^追放^放す聖^聖王^王を念^念ふや思^思ひけん聖^聖王^王
のち高祖^{高祖}聖^聖王^王の灰^灰を掃^掃きけ城^城滅^滅之^之せしとて振